えくてびあん

立川と語ろう　立川に生きよう

July 2022
Écoutez Bien　Vol.38　No.448

7

合わせて100年です

表紙／大賀ハス（泉町）

一両貳分の茶漬飯

八百善という料理茶屋

今回は一両二分もする超お高いお茶漬けの話。
一両二分とは、今に換算すると十万円以上というお値段。
さて、なぜそんなに高かったのか。謎解きはこの後すぐ。

案内人　太田尚宏氏（国文学研究資料館　准教授）
文・えくてびあん

享和の頃浅草三谷ばしの向に八百善といふ料理茶屋流行す深川土橋に平清大音寺前に田川屋也或人の咄に酒も飲あきたりいざや八百善へ行て極上の茶を煎じさせて香の物にて茶漬こそよからんとて一両壱打連て八百善へ行て茶漬飯を出すべしと望しに暫く御待有べしと半日ばかりもまたせてやうやうにかくやの香のものと煎茶の土瓶を持出たりかの香の物は春の頃よりいと珍しき瓜茄子の粕漬を切交ぜにしたる也扨食おはりて價をきくに金一両貳分なりと云客人興さめていかに珍しき香の物なればとてあまりに高直也といへば亭主答て香の物の代はともかくも茶の代こそ高直なり茶は極上の茶にても一ト土瓶へ半斤は入らず茶に含たる水の近邊になき故玉川迄水を汲に人を走らしたり御客を待せ奉りて早飛脚にて水を取寄せ此運賃莫大也と被申ける（『寛天見聞記』）

享和の頃というから一八〇一年から一八〇四年までの間、徳川家斉治世の江戸でのこと。浅草の山谷橋の向い側に八百善という料理茶屋があって、たいそう流行っていた。ごちそうや酒にも飽きたから、八百善にでも行って、極上の煎茶を淹れてもらい漬物でお茶漬けとはどうだろうかと連れ立って八百善へ行った。お茶漬けを注文すると、しばらくお待ちをというが、半日も待たされ、ようやく漬物と煎茶の入った土瓶が出てきた。漬物は、春には珍しい瓜や茄子の粕漬が切り交ぜてある。さて、食べ終わって値段を聞くと一両二分というではないか。確かに珍しい漬物はあったが、いくらなんでも高すぎる。すると亭主は、漬物はともかくも、土瓶に入れた煎茶が極上のもので、さらにその煎茶に合った水が近くにはなかったため、人を遣わして多摩川にまで早飛脚を使ったところ、その金額が莫大になったのだと。

外食が盛んになった江戸では、ひしめき合うように多種多様な飲食店が並んでいた。それぞれに特徴ある商品を提供し、客はそれぞれの身の丈に合った店へ出入りする。江戸の代表的な食べ物四つといえば、うなぎ、すし、てんぷら、そしてそば。それ以前にも食されていたものも、うなぎなら蒲焼、すしならにぎり、そばはそば切り、天ぷらに衣をつける、と現代の形に近づいたのが江戸中期。江戸町民の口に合う醤油が生まれ、飲食店もそれぞれに有名料理人を雇い、ミシュランならぬランク付け。

ちなみに八百善によれば、土瓶に入った煎茶は出汁で淹れてあるのだとか。今でいう「こだわり」が生んだ一両二分のお茶漬けは、さてどんな味がしたのだろう。

［ 立川に育まれて ㊵ ］

合わせて100年 節目の年に

ふたつのロータリークラブ 共に貢献活動を

立川ロータリークラブ63期
立川こぶしロータリークラブ37期
温故知新の1年にしたい

――そもそもロータリークラブ（以後 RC）とは？

中山　職業を通じて奉仕をする団体です。広く世界的にも、狭く地元地域にも、いろいろな部分で奉仕をしています。大きなことでいえば、世界中からポリオを根絶しようと、世界ポリオ根絶推進活動の立ち上げからパートナーとして共に取り組んできています。一方で地域的な活動としては、目立たないところで一生懸命なさっている優良職業人・社会奉仕功労者などの表彰をしたりしています。メンバーが自ら清掃したりということは、あまりやりません。

大野　ロータリーの基本は「I serve（アイ サーブ）」なんです。個人で活動する。対して「We serve（ウィ サーブ）」を掲げているのがライオンズさんだと思います。しかし近年はロータリーもクラブ単位で行う、特に地域に対しての貢献事業を増やしています。立川こぶしRCでも根川緑道にベンチを寄贈したり、立川図書館に電子書籍を寄贈するなど。地域に向けての活動を増やしています。

――RCと言えば、目立たないけれど、海外留学させてくれる、学生にとってはありがたい存在だという認識でした。

大野　はい。日本から海外へ留学のサポートの他に、外国人留学生の受け入れも積極的にしています。

――立川RCと立川こぶしRC、その新会長がおふたり揃ってということは、今期は何か変わるのでしょうか。

中山　立川RCが63期、立川こぶしRCが37期。合わせて100になります。お互いに会長になることが決まった時点から、打ち合わせをしてきました。というのも、立川RCがコロナ禍で創立60周年の記念事業ができなかったんです。

大野　こぶしは35周年ができませんでした。

中山　相当準備を重ねて本番の直前まで行ったのですが、やはり断念せざるを得なかった。こぶしさんもできあがっていたのに断念したんですよ。お互いに断念するという経緯を話していくうちに、私が63代会長、大野さんが37代会長、その和が100になるので、一緒に続けてきて100年という位置づけを作っちゃおうと。

大野　より強く協力していきましょう、ということです。合同事業は今までもありますが、1つはGREEN SPRINGSのステージガーデンで、クリスマスチャリティーコンサートを共催します。毎年RISURUホールでやっていたコンサートの場所をステージガーデンに移しての開催です。もう1つは共同でアプリを開発する。立川RCはパレスホテル、こぶしRCはホテルエミシアで例会を開いていますが、食事が少し余ってしまうのが現状なので、アプリで出欠席と食事の管理をしてフードロス削減をしていきます。

中山　立川RCは、新しいことをしようとするとものすごい抵抗にあうのが常なんです。ある意味、厳格なんです。年配の方々が矍鑠（かくしゃく）とされていますからね。でも、私は現状よりもっと良くなるなら変えていきたいと思うわけです。1つはデジタル化。広報委員会を広報デジタル委員会にして、出席アプリを使います。メンバーは123名ですが、現状は全員にFAXです。今時、FAXはなかなか無い。アプリに賛同することで、ペーパーレスに繋がり、フードロスも減少、クラブの事務局の労働時間短縮にもなり、通信費も減ります。

――とても厳しい組織のようですが、入会は誰でもできるのですか。

中山　誰でも入れる組織ではありません。入りたいなと思っても審査がありまして、結構落とされるんです。会員の1名でも反対があれば入れないです。

大野　こぶしの場合は、もう少しフレンドリーです（笑）。立川RCは行っていただくとわかりますが、かなりピリッとした格式ある例会をされています。こぶしも平均値よりは厳格ですが、やはり立川RCに比べるとアットホームです。

中山　同じ街にいますからね、お互いをよく知っている。だから一緒にさらに仲良くやっていく、これ、良いことだと思うんですよ。

――大野さんはお若いですが、おいくつですか。

大野　49歳です。ロータリーの会長としては、若すぎると言われることもあります。クラブの中でも8割以上が先輩で、こぶしRCの会長としては最年少です。入会して私は10年経ちますが、その中で先輩方からの立川への思いというものが僕の中に入ってきて、ロータリーをきっかけに立川ダイス（3人制バスケットボール）があったり、商工会議所でのプロスポーツやキックボード推進事業があったり、GALERA TACHIKAWAもそうですね。ロータリーがハブになって友達もたくさんできました。ロータリーには友情を育むという1大コンセプトがありますので、家族のように付き合っていく、信頼関係ができあがります。そこにいろいろなきっかけが生まれる。ロータリーはそのゼロ地点だなと思いますね。

――その中でクラブ自体を変えようとしていらっしゃる。

大野　もともとは陰で徳を積むというような活動だったんですが、それだけでは多くの方に「ロータリーって何やってるの？」と言われてしまう。ですから 家族や従業員のためにも、個人として徳を積む精神も大切にしながら、団体として、ロータリーとして地域に貢献活動をしていくようになっています。

――立川にあるRCだけが変わってきたのですか？

大野　世界的にも国際ロータリー自体が公共イメージを大切にしようという動きになっています。最近で言えば、ウクライナにもロータリークラブはあり、私達もすぐに募金を募って、きちんとしたルートで届くようにしました。

中山　ちゃんとしたルートでないと、武器に使われてしまうかもしれないじゃないですか。それは本意ではないので。

――なるほど。

中山　3年前の創立60周年の時、長井工務店の長井さんが会長で、私は幹事でしたが、10年後のクラブの指針、「SDGs持続可能な17の項目を2030年までに達成する」を出しました。それから今年は3年目で、より具体的に進めていく段階です。社会奉仕委員会の枠の中で環境保全委員会がありましたが、それを分離して環境委員会として独立させて、独自に動いて環境改善に特化したことをやっていこうとしています。良くなるのであればもっと変化を求めて参りたいと考えています。

大野　こぶしRCでは立川図書館へ電子書籍の寄贈を考えています。コロナ禍で電子書籍の需要が高まりました。今回も子ども向けに青空文庫を500冊、大人向けにデジタル伊能図を寄贈し、日本の地図ができてきた軌跡を楽しんでいただこうと思っています。 電子書籍は文字の大きさや画面の明るさも自由になり、指1本でページを捲れたり、読み上げ機能もあるなど様々なユーザーに対応していて、ユーザーフレンドリーなんですよ！

――市民から見て、これはロータリーの仕事だとわかることはあるのですか。

大野　根川緑道のベンチ。今年で20基以上になると思います。

――それって、ロータリーだとわかるのですか。

大野　小さくロータリーマークがついています。でもその程度です。ですから、表に出てきたのは最近なのです。

――陰徳でしたからね。

中山　そう、そうなんですよ。でも私たちの年度から、今回の取材もそうですしSNSもそうですけれど、ロータリーって良いことやっているんだよということを、きちっと市民の皆さんに伝えていこうとしているんです。ただのお金持ちの集まりだと思っているかも知れないでしょ。

――思ってます、思ってます。

中山　良いことをすごくやっているんです。街に対してもそうだし、世界に対しても、他の国に対しても。それを言わない、発信しないから。でも私たちの代は発信しようと思っています。もっといろいろな媒体を使って、こんな良いことをやっているんですよと。委員会の皆さんがやっていることを、電子媒体などを使って知らしめていきたいと思っています。

――前述されましたが、厳格な組織でいらして、従来のあり方を守りたい方からのお叱りなどはないのでしょうか。

中山　反対は常にありますよ。何をやっているんだ！と言われるかもしれない。言われるだろうなあ。えくてびあんに載るとかっていうことを良しとしない人もいますからね。

――ライオンズさんはクリーン多摩川とか取材させていただいたりしましたよ。

大野　ライオンズさんはwe serve、団体でやるからです。駅前の募金活動も皆さんでされるじゃないですか。ロータリーは基本が個人の陰徳なので。でも、もう少し理解されたいですよね。必要以上に美化しませんが、やっていることは認識してもらいたい気持ちはあります。

中山　長井さんが会長だった時にコロナの感染が始まりました。例会が3か月開催できなくなり、会費が余る事となりました。会員に一部返金をし、一部を医療従事者のためにお使いくださいと立川市新型コロナウイルスの窓口に寄付をしたんですよね、言わないけど（笑）。

――言わないところが美徳ではありますよね。

大野　そうなんです。今でもそうなんです。

中山　そう思っている人はたくさんいますよ。だから叱られるかもしれないけれど、えくてびあんには本当のことを書いていただきたいです。

大野　僕らはそういう世代です。

――パレスホテルの南側に被災地の桜を植樹されたとき、初めてこうした活動を知りました。

中山　来年の3月10日にはまた取材に来てください。その時、植樹をして頂いた福島の郡山RCの方々もお呼びしておりますので…。ロータリーって、良い事ばかりやっているんですよ（笑）。

中山賢一氏

国際ロータリー第2750地区　東京立川ロータリークラブ2022～2023年度会長。株式会社ライズデザイン一級建築士事務所 代表取締役。1961年5月9日生まれ。3歳から立川住民。10年間設計事務所に勤め、30歳で独立。立川青年会議所第36代理事長、立川青年会議所OB会会長を歴任。趣味は「下手だけれどゴルフ」、旅行も好き。フランチャイズ店舗の設計を請け負っているので、全国へ出張している。多忙な中にも、ご奉公したいと語る。

大野芳裕氏

国際ロータリー第2750地区　東京立川こぶしロータリークラブ2022～2023年度会長。株式会社大野開発 代表取締役、株式会社ユナイテッドプロモーションズ 代表取締役。1973年1月15日生まれ。立川こぶしロータリークラブ会長としては最年少。ロータリークラブがハブでありすべてのきっかけだと言う。知り合った仲間と信頼関係を築く中、立川への想いはさらに募る。

街を歩けば
出会いの輪を広げて

備えあれば憂いなし

台風や集中豪雨が多発する時期、災害は起きてからでは遅すぎる

**多摩川のはん濫による大規模な水災の発生を想定し、
東京消防庁、水防管理団体及び関係機関が連携した訓練を実施しました**

5月21日（土）、国立市谷保の多摩川河川敷公園において、令和４年度　東京消防庁・国立市・立川市・昭島市による合同総合水防訓練が行われました。小雨降る天候の下、訓練には令和２年２月に発隊した即応対処部隊を中心とした消防部隊をはじめ、地元各自治体の消防団員、町会・自治会など合計28機関、約500名が参加、浸水した建物や土砂崩れにより倒壊した家屋からの救助活動や、河川に流された要救助者を消防ヘリコプターにより救出するなど実戦的な訓練が実施されました。

訓練終了後には、感染症対策のため清水洋文消防総監はじめ限られた人数で点検が行われました。清水消防総監の講評に「機関相互の連携強化を図ることができ、住民の皆さんの水災に対する意識を高める機会になった」とありましたが、令和元年10月の多摩川流域の水害や令和３年７月に熱海で起きた土砂災害などを他人事とせず、それぞれに備えを万全にしていきたいですね。

訓練開始報告

自治体や町会住民による住民工法展示

二輪車や全地形対応の車両など、続々登場

土砂災害に対応する車両やベルトコンベア

災害救助犬が投入され、要救助者を発見

河川では流された住民をヘリコプターで救助
すぐに医療機関へ搬送

救急車両やDMATも到着　任務を遂行

災害救助犬たち

ジムニーを運ぶヘリコプター

清水洋文消防総監の講評

多くの方が参加しました

指揮本部にあるコマンドカーと車両の中の様子

東京消防庁には1台しかない（神田）トイレカーとその中の様子

各消防団団長、左が立川市消防団団長　宿谷豊さん、
この春37年間の消防功績で藍綬褒章を受章されました。

お知らせ

第50回　全国消防救助技術大会 in 東京・立川

「助ける」を競う。それが、全国消防救助技術大会です。全国から選び抜かれた隊員たちが一堂に会し救助の技術を競い合います。陸上の部８種目、水上の部８種目に分かれて日頃の訓練の成果を披露します。2022年８月26日（金）立飛特設会場にて開催。入場は無料です。同時開催〈第50回大会記念　RESCUE EXPO in 立川〉、最先端の消防防災資器材・技術・情報の総合展示会。　※詳細はこちらをご覧ください。▶

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 曙町・羽衣町・錦町 のお店です。

曙町

TABACCONIST ゼフィルス 524-0514
あら井鮨総本店 …… 522-2957
大衆劇場 立川けやき座 ……512-5057
立川伊勢屋 ルミネ店…… 524-3395
たましん すまいるプラザ立川 0120-667-646
オリオン書房 ルミネ立川店…… 527-2311
みずほ銀行 立川支店……524-3121
コスメドール 辰己屋…… 524-6051
エミリーフローゲ 本店……527-1138
クリムト …… 526-3030
黒毛和牛専門店 焼肉FUKI 523-0166
宮地楽器 MUSIC JOY 立川北 527-6888
三井住友銀行 立川支店…… 522-2151
レストラン サヴィニ…… 525-1662
立川献血ルーム…… 527-1140
アートルーム 新紀元…… 528-6952
MOTHERS ORIENTAL 528-0855
和食どころ 若草茶屋…… 526-0010
三上鰹節店…… 522-3259
ビックカメラ 立川店……548-1111
Charcoal Dining るもん 527-3022
酒亭 玉河 ……522-2654
玉屋 KITCHEN …… 595-7847
ホテルエミシア 東京立川…… 525-1121
カフェ アバン…… 527-4479
手打ちそば しぇ もと…… 529-5468
シンボパン …… 522-6211
天ぷら わかやま…… 525-0222
café cocokara ……512-7159
多摩水族館 …… 524-0288
和菓子 井筒屋 …… 522-4433
すし 魚正 ……522-3437
Cut Studio SOFIA …… 528-3241
レストラン いなつき ……528-1470
立川市女性総合センター アイム 528-6801
オリオン書房 ノルテ店……522-1231
洋食屋 にゅうとん…… 522-3921

羽衣町

額縁専門店 プリムベール …528-6789
たましん 東立川支店…… 524-0611
ギリシャレストラン SHUPOUL 519-3923
林歯科医院 ……522-5657
新鮮野菜・惣菜 立川商店… 522-3565
本・事務用品 泰明堂 …… 522-3353
本と文具 ないとう …… 522-3677
赤松タバコ店…… 524-7852
BB TAKAOKA…… 521-0236
まごころ銘茶 狭山園 ……527-0146
お好み焼ともんじゃ焼 こけし 526-1267
そば たかや……595-6922

錦町

鳥料理 くし秀 ……522-7692
寿司勝 ……522-4874
イタリア料理 トラットリア ドン シェ～ 512-8735
中国料理 五十番 ……522-7472
一六珈琲店 ……527-1680
手づくりみそ 材料専門店 北島こうじ店 524-3190
new gyoza 1059 餃子天国 526-2283
バー バル アラディ…… 523-3917
CAFE SOMMEILLER ……527-1440
中国整体院 …… 529-1088
日本クッキングスクール ……522-3440

jorakugajo
真如苑提供番組〈常楽我浄〉
スカパー！：529ch
スカパー！で放送の常楽我浄は
スマホアプリ「スカパー！番組表」（無料）で視聴できます。
J:COM 多摩：11ch・111ch
放送時間については番組表をご確認ください。
www.shinnyo-en.or.jp

街の話題 TOPICS OF TACHIKAWA

江村美咲選手、目標は「パリ五輪で金！」

立飛HD所属のフェンシング江村美咲さん、5月上旬に行われたワールドカップチュニジア大会で、女子サーブル優勝。サーブルでは男女通じて初のW杯金メダルです。団体戦でも銀メダルを獲得、続くグランプリイタリア大会の個人戦で銅メダル。世界ランキング3位となりました。5月24日に帰国し、25日には立飛HD本社で同社村山正道社長より報奨金を受け取りました。東京オリンピック以降は心晴れない日もあったそうですが、髪色を明るくして、コーチによるまさに叱咤激励の中にあった言葉、「相手をリスペクトすると、自分の心に余裕ができてくる」を身をもって実感。2年後のパリ五輪に向けて強い気持ちで新たなる発進を語ってくれました。

村山社長&江村美咲選手

ビーチサッカー、白熱の試合でした！

2017年にビーチサッカー部門として設立されたクラブチーム〈東京ヴェルディビーチサッカー〉。ホームタウンの立川市を拠点に活動中。5月14日と15日、トップカテゴリー強化リーグが開催されました。えくてびあんでは2017年からずっと取材していますが、たった5年でビーチサッカー界は激変。強豪チームが続々と育ってきて、現役の日本代表選手が複数在籍する東京ヴェルディBSも簡単には勝てない。試合展開がものすごく速くて、面白い！5月15日に行われた決勝戦では、アヴェルダージ熊本BSの見事なパス回しからのシュートで、もしかして負けちゃうの？と思ってしまうくらいのドキドキ感。でもここからが東京ヴェルディの底力。第3ピリオドで巻き返し、終わってみれば7－5で、トップカテゴリー強化リーグ初代王者となりました！

おめでとう！東京ヴェルディビーチサッカー

茂怜羅オズ選手のオーバーヘッド

CotoLink コトリンク 開業しました！

みんなが待ち望んだ立川駅南口のにぎわいスポット。それがコトリンク。地域情報の発信や特産物販売などを行います。東京都と立川市が合同で建設した建物で、「南口の新たなにぎわいと多摩の魅力発信」の拠点になる予定。地下1階、地上7階のうち、立川市専有部の1階に特産物販売とカフェの入る「LULU Terrace」が入ります。農産物マルシェの「のーかる・バザール」では新鮮な野菜や信濃大町の特産品も買えます。朝8時から営業している「ジバー・カフェ」では地場の旬が味わえます。駐輪場の利用は24時間。3時間無料で、5時間50円、24時間になっても120円。ぜひ、お出かけくださいね！

コトリンクのテープカット

1階　LULU Terrace入口

令和4年夏巡業 大相撲立川立飛場所 開催です

令和2年春巡業から中止となっていた大相撲の地方巡業、その再開初日が立川立飛場所となりました。8月5日（金）、場所はアリーナ立川立飛です。チケットは4月25日よりチケットぴあにて販売が開始されています。楽しみですね！

チケット購入はこちらから

2019年の様子

立川落語会 40周年 記念発表会

『えくてびあん』創刊時にはもう活動を始めていたというのだからすごい。立川落語会、いろいろメンバーも出たり入ったりですが、継続されていることがすごいです。40周年ということで、今回は紙切りがあったり南京玉すだれがあったり、そしてなんと落語会なのに漫才をやってくれました。立川落語会、えくてびあんでは来月号に特集します。お楽しみに！

南笑さんと夢子さんの漫才　この写真だけで笑えます

表紙

世界最古の花

1951年、千葉県にある落合遺跡から発掘されたハスの実3粒。大賀博士によって大事に育てられ、3粒のうち1粒が成長、1952年7月18日に花を咲かせ、「大賀ハス」は2000年の眠りから覚めた世界最古の花として珍重されてきました。今では分根され東京でも各所で見られるようになっています。朝早く開いた花が、毎日昼過ぎには閉じるを繰り返し、4日目には散っていきます。濃いピンクだった花びらがだんだん白っぽくなっていく変化も魅力のひとつ。いくつもある花言葉の中に「清らかな心」があります。泥水を吸い上げて育つのに、汚れない美しい花を咲かせることが由来のようです。

3粒の実から花を咲かせたのはたった1粒。その1粒のおかげで、今こうして大きな美しい花を愛でることができるのですね。1粒が1粒で終わらない証です。

かたこと

◆新型コロナ感染症もなんとなく下火になって、それでもワクチン4回目接種のお知らせが。一方では先の見えない「戦争」が、地球全体にいろいろな影響を及ぼし始めています。物価高騰もその1つでしょうか◆立川には、コロナ前のにぎわいが戻りつつあるように感じます。飲食店や物販店の開店が続き、立川駅南口には産直野菜を扱うお店もできました。砂川のおいしい野菜は「みのーれ立川」まで行かなければならないという声に応えてくれるお店です。南と北を繋いでくれる拠点でもあるようです◆江村美咲さん金メダルの取材に行かせていただいて、びっくりしました。韓国人のコーチやフランス人のコーチと、何語で話しているのかという問いに、フランス人とは英語で、韓国人とは韓国語でというではありませんか。考えてみたら、ビーチサッカーのチャンピオン 茂怜羅オズさんも日本語がとても上手。ビーチバレーの藤井桜子さんも英語がお得意。スポーツで世界を目指すだけでも大変なのに、言葉もできるなんて！ 大相撲の夏巡業がやってきますが、モンゴル勢も日本語がお上手ですよね。日本語もままならない自分をどうしましょう◆周年行事も続いています。国文学研究資料館が50周年、オンラインで記念式典と講演会を開催しました。海上保安庁も50周年だそうです。今年は立川飛行場開設から100年。「空の都　立川」があって今がある。歴史を振り返るチャンスの年でもありそうですね。　　えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ©
7月号　第38巻　通巻448号

令和4年7月1日発行
発行　有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10　高島ビル4F
TEL 042-528-0082　FAX 042-528-0065
E-mail　message@tamatebakonet.jp
URL　https://www.tamatebakonet.jp
発行人　黒須 環
企画・写真・編集　えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷　ダイオーミウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

矢車菊・麦　カフェの入口横で　花・花器とも大森良子

私の立川 私と立川 ―― ❸

スープカフェ なんでもない日の穏やかな日々

謙虚な気持ち、感謝する気持ち、そして挨拶を大切に。これは祖母からの教えです。おばあちゃん子だった私も主婦業三十三年目。毎日、

「おはよう」「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」

「いただきます」「ご馳走さま」

「おやすみなさい」

そして「ごめんなさい」

何百回、何千回、何万回言ってきたでしょう。

『なんでもない日』で仕事を始めて、「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」「またお越しください」が加わりました。小さなお店の優しい挨拶。

かわいい女の子のお客様。毎週スープを買いに来てくれる。すみれちゃん。彼女のおままごと遊びのスープ屋さん。必ず最後に

「また来てね！」

のひと言が。このひと言は私のマネをしているそうな。嬉しい！

『なんでもない日』のちょっとした会話。挨拶は、私を幸せにしてくれる魔法の言葉なのです。

カフェスタッフ　田村美日（みか）